

1. 基本的な考え

参加する選手・監督、大会役員をはじめとする大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項と考え、長野県高等学校体育連盟の『新型コロナウイルス感染症に係るガイドライン』に沿って、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じたうえで大会を開催する。

2. 具体的な対策

1) 大会規模の縮小について

試合時間を4分間から3分間に短縮する。(個人、団体とも)

2) 健康調査票等の提出及び検温の実施について

すべての参加者(選手、監督、役員、引率保護者[下記6)の場合]等)及び大会関係者に入場時に、**健康調査票(参加者については追加書類あり)**の提出を求めるとともに、検温を実施する。なお、健康調査票等の記載内容に問題がある場合、検温にて異常が認められた場合は、専門部の判断により、大会への参加を認めない。

全柔連：『新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針(Version3)』2021/2/10による

3) マスクの着用について

すべての関係者に対し、常時マスク着用を義務付ける。ただし、試合を行う選手については、これを除外する。

4) 手指消毒、身体的距離の確保等について

すべての関係者に対し、入場時に手指の消毒を行うとともに、会場内においても適宜手指の消毒を求める。また、出場選手には試合前後に手指消毒を行い、定期的に試合会場(畳)の消毒を行う。

5) 開・閉会式について

簡略し行う。

6) 観客について

無観客とする。特例として選手が複数名いる学校で引率顧問が1名の場合に限って、緊急時の対応のために保護者の入場を事前登録によって1名許可する。

7) 練習の制限

大会2週間前より、在籍する学校(主に練習する場所)以外での練習を禁止するとともに、練習相手を限定するなど、感染予防に努めることを求める。

なお、選手、監督、引率教諭には、感染リスクとなるような行動を自粛することを求める。

8) 柔道競技独自の感染症対策について

参加者は全日本柔道連盟より出されている『新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針(Version3)』に沿って、感染症予防に努め、練習及び大会に参加する。

※今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、変更することもあります。

【参考】新型コロナウイルス感染症対策に係る県立学校運営ガイドライン

令和2年12月28日改訂 長野県教育委員会

新型コロナウイルス感染症に係るガイドライン

令和3年4月 長野県高等学校体育連盟

新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針(Version3)

2021年2月10日 全日本柔道連盟